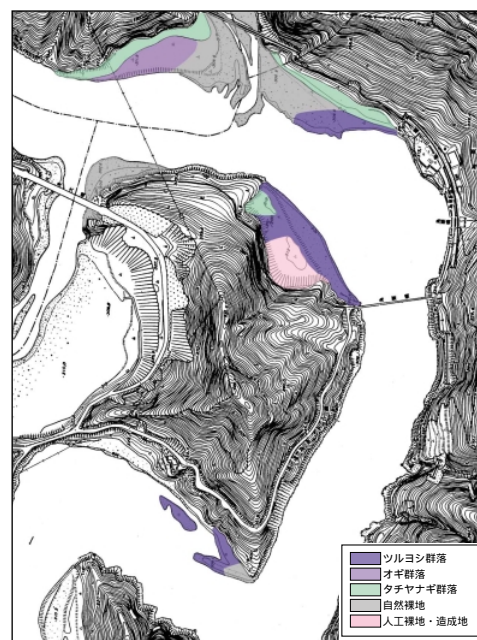


ポイントマップ

河原へ行って植物を観察しよう！

- マップ1 JR飯田線^{してぐり}為栗駅（天竜村） 120km付近
- マップ2 飯田市時又港下流（飯田市） 141km付近
- マップ3 明神橋上流（豊丘村） 155km付近
- マップ4 飯沼橋下流（飯島町、中川村） 170km付近
- マップ5 天竜大橋上流（駒ヶ根市） 181km付近
- マップ6 三峰川合流点（伊那市） 191km付近
- マップ7 新箕輪橋下流（箕輪町） 200km付近

マップ1 JR飯田線^{してぐり}為栗駅（天竜村）



観察のポイント

飯田市天竜峡より下流では山地の中を縫うようにして天竜川は流れます。斜面が近接して川幅が狭くなることから、広い河原はほとんど見られません。したがって広い河原に生育する植物はあまり見られず、河岸の岩場や山地に見られる植物が多くなります。

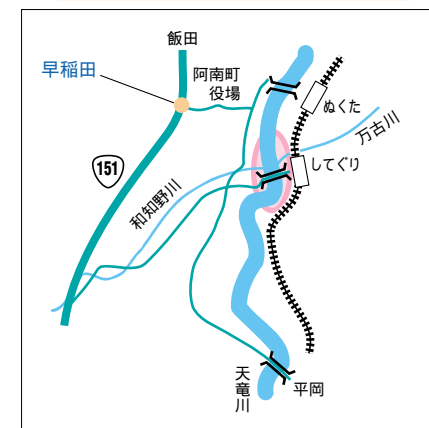
また、ここは県内でも南の端に近いので、暖地性の植物（本州太平洋側の暖かい地方に生育する種）が天竜川沿いに南から入り込んでいます。駅の南側から対岸に渡るつり橋を渡ってみましょう。落ちないように気をつけながら河岸の植物を見ると、

暖かい地方に多いアラカシなどの常緑の樹木が観察できます。また、橋より上流をながめると万古川^{まんご}の合流点が目に入りますが、万古川沿いにも常緑樹が生育している様子が観察できます。

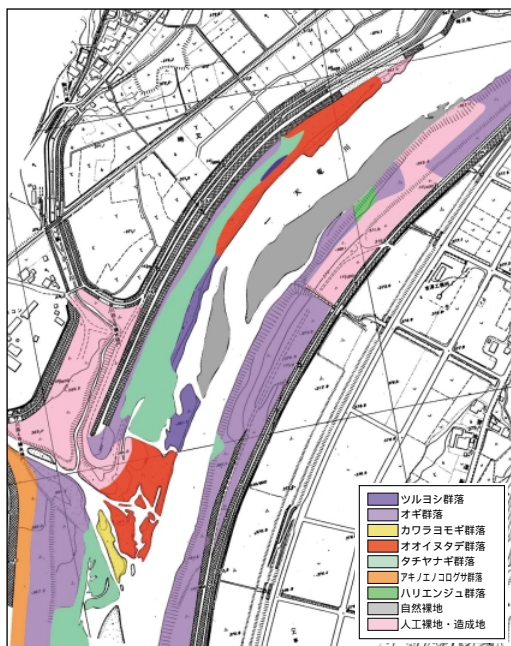
観察できる主な植物

【岸寄りの斜面】カワラハンノキ、アラカシ、ウラジロガシ、シラカシ、ツクシハギ、アカメガシワ、カラスザンショウ、ヤブウツギ

アクセス
車：飯田方面より国道151号、「早稲田」信号右折、天竜村平岡方面、ふるさと味覚小屋左折
鉄道：R 為栗駅下車、徒歩 10分



マップ2 飯田市時又港下流（飯田市）



観察のポイント

飯田市鷺流峡と天竜峡の間に挟まれた川幅の広い場所です。右岸（下流に向かって右手）では広い河川敷が広がり、様々な群落を見ることができます。

右岸の堤防沿いに歩いてみましょう。堤防と平行にヤナギ林が帯状に続いています。地下の水位が高いせいか、タチヤナギ、カワヤナギなど比較的水を好む種類で構成されています。ヤナギ林と堤防の間には湧水による水たまりがあり、最近少なくなったウキヤガラなど湿性の植物を観察できます。

久米川が流れ込む辺りから河川敷に降りてみましょう。川の上流から運ばれてくるのでしょうか、帰化植物の大変多い場所です。珍しい植物

を探してみてください。水際にはオオイヌタデ群落やツルヨシ群落も生育しています。

観察できる主な植物

【ヤナギ林】タチヤナギ、カワヤナギ

【水たまり付近】ヤナギタデ、ミゾソバ、オランダガラシ、ツリフネソウ、フサモ、ヘラオモダカ、ヒメガマ、ガマ、コガマ、ウキヤガラ、サンカクイ

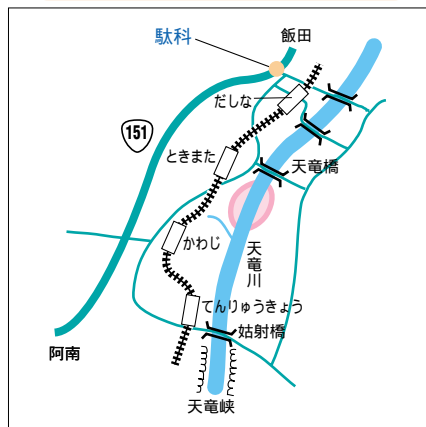
【本流・支川の水際】オオイヌタデ、セリ、ヒロハホウキギク、アメリカセンダングサ、フランスギク、クサヨシ、ツルヨシ

【乾燥した砂れき地】マルバヤハズソウ、カラメドハギ、ブタクサ、カワラヨモギ、セイタカアワダチソウ、イガオナモミ、ホッサガヤ

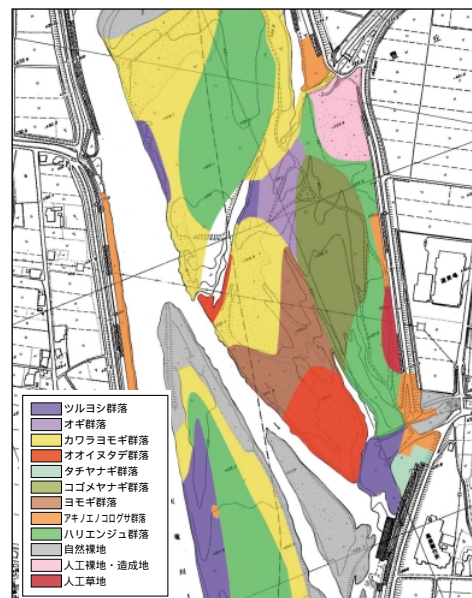
【堤防草地】メリケンカルカヤ、アキノエノコログサ

アクセス

車：飯田市街方面より国道151号、「駄科」信号を左折、天竜舟下り「時又港」下流側
鉄道：R 時又駅下車、徒歩0分



マップ3 明神橋上流（豊丘村・芦部川合流点付近）



観察のポイント

中川村、松川町と狭い谷を抜けてきた天竜川は、この付近から川幅が広がり、天竜川上流のうち最も川幅の広い区間となります。かつての流路跡も見られ、そのような場所にどのように植物が侵入するかを観察するのに良い場所です。

芦部川の合流点付近から高水敷に降りてみましょう。小高い乾燥した砂れき地ではカワラヨモギ群落、砂地ではオギ群落が分布しています。また、流路跡の低い場所は水たまりになっており、周辺にはオオイヌタデやクサヨシ、ツルヨシなどの水際を好む植物を見ることができます。

現在の流路まで近づくと、最近砂れきが堆積した裸地も見られます。このような砂れき地では新たに侵入した植物の芽ばえを観察できます。

観察できる主な植物

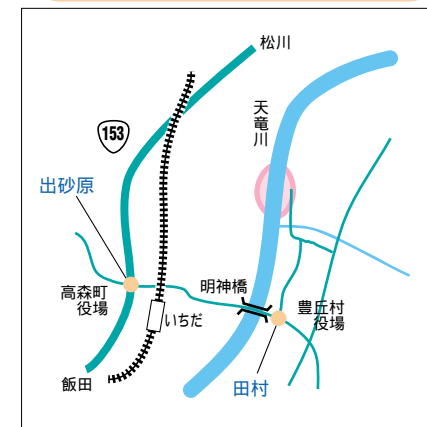
【堤防前の林】コゴメヤナギ、タチヤナギ、ハリエンジュ、ユウガギク、ピロードスゲ
【堤防草地】イヌドクサ、ナヨクサフジ、ノハラクサフジ、オオブタクサ、オオキンケイギク

【乾燥した高水敷】サボンソウ、カワラサイコ、コマツナギ、カラメドハギ、アキグミ、メマツヨイグサ、カワラハハコ、カワラヨモギ

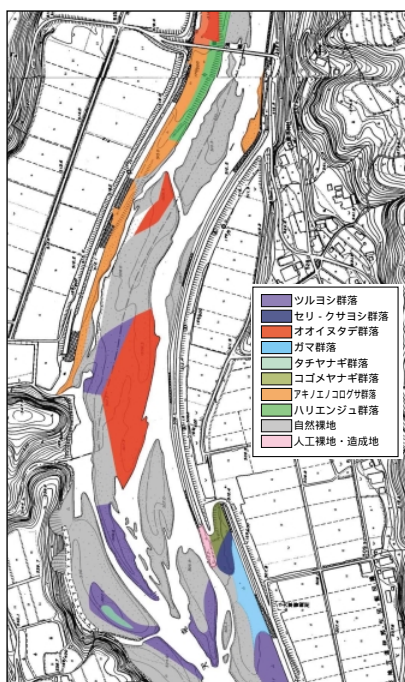
【水たまり・流路周辺】イヌコリヤナギ、オノエヤナギ、ミゾソバ、ドクゼリ、ハルザキヤマガラシ、セリ、ヘラオモダカ、ホッサガヤ、ツルヨシ、オギ、クサヨシ、ガマ、サンカクイ

アクセス

車：飯田方面より国道153号、「出砂原」信号を右折、明神橋を渡り県道「田村」信号を左折、芦部川に沿って天竜川へ
鉄道：R 市田駅下車、徒歩5分



マップ4 飯沼橋下流（飯島町、中川村）



観察のポイント

駒ヶ根市南部から中川村付近までは狭い谷と川幅の広い場所が交互にあらわれる区間です。この飯沼橋周辺はちょうど広がった場所にあります。

飯沼橋の左岸側から下流に向かって歩いてみましょう。堤防の中の流路は細かく分かれ、網目状に流れている様子が観察できます。これは流路が安定しないことを示しており、洲の形も定まらず、多年生の草本にとって生育の難しい場所になっています。そのかわり、一年草のオオイヌタデや不安定な水辺にも強いツルヨシが多く生育します。

堤防の端近くまで歩くと川幅が広くなり、高水敷も広くなるため、ガマ群落なども見られるようになります。

観察できる主な植物

【乾燥した砂れき地】イヌドクサ、サボンソウ、カワラサイコ、メマツヨイグサ、カワラヨモギ

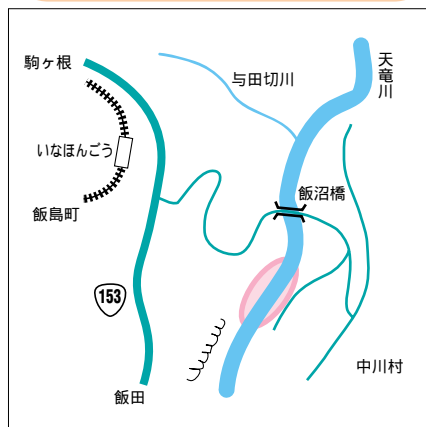
【安定した高水敷】オノエヤナギ、コゴメヤナギ、ノイバラ、シロバナシナガワハギ、オギ、オオキンケイギク

【高水敷の湿性地】アキノウナギツカミ、ミソソバ、ゴキヅル、セリ、ヨシ、ガマ

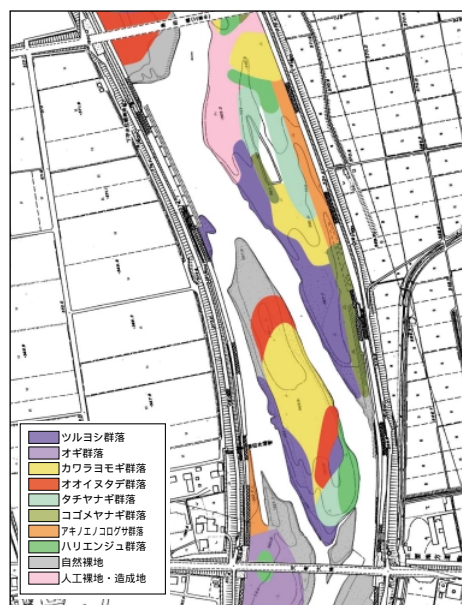
【流路に沿った水際】オオイヌタデ、ツルヨシ

アクセス

車：駒ヶ根市方面より国道153号、「飯沼橋入口」の看板左折、飯沼橋を渡り天竜川沿いに下流へ
鉄道：R 本郷駅下車、徒歩0分



マップ5 天竜大橋上流（駒ヶ根市）



観察のポイント

伊那市から駒ヶ根市に入ると太田切川など中央アルプスから大きな川が幾筋か合流し、川幅は広がります。それにともなって高水敷も広くなり、様々な群落が見られるようになります。

左岸側の堤防を歩き、河原に降りやすい場所を探して下に降りてみましょう。流れの水際にはツルヨシ群落、乾燥した砂れき地にはカワラヨモギ群落やコゴメヤナギ群落、というように流水からの距離や高さで植物群落の変化している様子が見分かります。

高水敷の中央部には伏流水が湧出してできた池があり、周辺ではドクゼリなどをはじめ、湿った場所を好む植物を観察できます。

観察できる主な植物

【流路に沿った水際】ツルヨシ、オオイヌタデ、カズノコグサ、クサヨシ、イガオナモミ

【乾燥した高水敷】カワラヨモギ、アキグミ、イヌドクサ、カワラサイコ、カワラハハコ、オオキンケイギク、シロバナシナガワハギ、ムシトリナデシコ

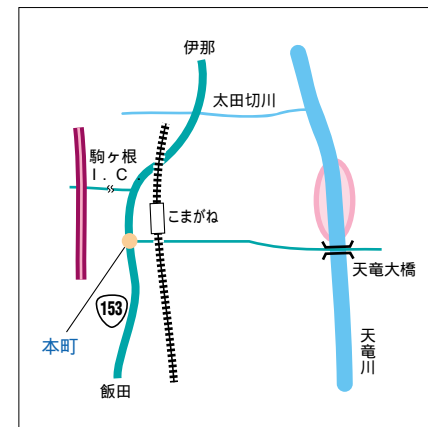
【ヤナギ林】タチヤナギ、コゴメヤナギ、ハリエンジュ、アレチウリ

【池周辺】ドクゼリ、マコモ、ミソソバ等

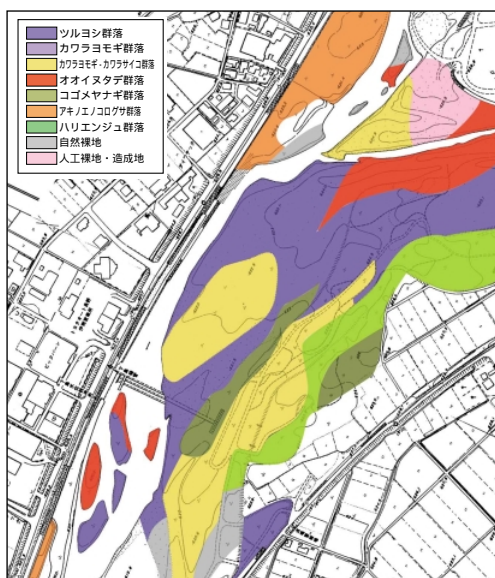
【堤防下の草地】ナヨクサフジ、レンリソウ

アクセス

車：国道153号、「本町」信号を駒ヶ根駅方面へ、天竜大橋を渡り堤防上を上流側へ
鉄道：R 駒ヶ根駅下車、市内バス中沢線



マップ6 三峰川合流点（伊那市）



観察のポイント

天竜川は三峰川の合流点から川幅が一気に広がります。この地点は上伊那区域で最も河川敷の広い場所であり、さまざまな群落が見られます。水分条件や砂れきの大きさ、地形によって植物が棲み分けている様子を観察しましょう。

三峰川方面から左岸の堤防を歩きます。堤防下では樹高の高いヤナギやハリエンジュの林が見られます。しばらく歩いて、水田の南端付近から河川敷に降りてみましょう。ヤナギ林の帯を抜けると乾燥した高水敷が広がり、ここでは典型的なカワラヨモギ-カワラサイコ群落を観察できます。

本流までは遠いですが近づいていくと、増水時に水の流れた跡が幾筋が見られ、オオイヌタデ群落やヤナギの低木林、ツルヨシ群落、カワラヨモギ群落などがモザイク状に分布しています。

観察できる主な植物

【乾燥した高水敷】サボンソウ、ムシトリナデシコ、カワラサイコ、カワラケツメイ、シロバナシナガワハギ、アキグミ、メマツヨイグサ、カワラハハコ、カワラヨモギ、オオキンケイギク、オギ

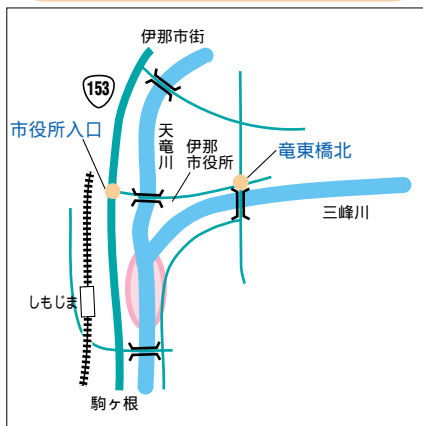
【ヤナギ・ハリエンジュ林】コゴメヤナギ、ハリエンジュ

【流路跡や水際】カワヤナギ、オオイヌタデ、アキノウナギツカミ、ハルザキヤマガラシ、ゴキツル、セリ、オオブタクサ、ツルヨシ、クサヨシ

【高水敷の草地】ツルマメ、ノイバラ、ノハラクサフジ、ノコンギク

アクセス

車：伊那市街方面より国道153号「市役所入口」信号を左折、伊那市役所を過ぎ「竜東橋北」信号を右折、竜東橋を渡り三峰川堤防上を天竜川へ
 鉄道：R 伊那市駅下車、市内バス市役所方面行き



マップ7 新箕輪橋下流（箕輪町）



観察のポイント

三峰川合流点から上流の伊那市から辰野町にかけては川幅が狭くなるため大きな洲ができにくく、川に沿って細長い洲が見られるようになります。大きな洲がないため、乾燥した砂れき地に生育する植物はあまり見られません。流水に近いことから湿性地进行を好む植物が多くなっています。

新箕輪橋の左岸側から堤防を歩いてみましょう。左岸側に細長く洲がついており、それに沿って帯状に群落が見られます。流路に近い場所にはタチヤナギ、その根元や水際にはツルヨシ、オオイヌタデなどが帯状に生育しています。堤防下には水路状の水たまりがあり、周辺ではクサヨシ、セリ、ガマなど、水たまりの中や本流の流れの緩い場所ではエビモなどの沈水植物が観察で

きます。

観察できる主な植物

【ツルヨシ群落付近】ツルヨシ、オオイヌタデ、

【低木】タチヤナギ、オノエヤナギ

【草地】ツルマメ、ノハラクサフジ、アカバナ、オオブタクサ、キショウブ、ヨシ、カサスゲ

【水たまり周辺】ヤナギタデ、アキノウナギツカミ、セリ、ドクゼリ、ワスレナグサ、ヘラオモダカ、エビモ、クサヨシ、ガマ、サンカクイ

アクセス

車：伊那市方面より国道153号、「木下南新町」信号を右折、新箕輪橋を渡り堤防上を下流側へ
 鉄道：R 木下駅下車、徒歩5分

